

【第8回 設問】

Yは、A社に5年間勤務していたが、上司との折り合いが悪くなって退職した。次の仕事が見つからないので、あれこれ思い悩んでいたが、A社に出入りする鍵やセキュリティカードをまだ返還していないことを思い出し、A社にある顧客名簿をこっそり盗み出して、これを名簿屋に売って儲けようと考えた。

Yは、①11月1日の深夜、持っていた鍵を使ってA社に忍び込み、顧客名簿を管理するコンピュータを立ち上げて、名簿のデータを開いて確認したうえ、コンピュータの隣に備え付けられていたプリンターを使って、名簿の印字をはじめた。そのデータは、約5000件以上あり、備え付けのプリンターは、機種が古く印字速度が遅かったので、ようやく300人分を打ち出した時点ですでに15分が経過してしまった。Yは、いつまでも印字を続けていると見つかるおそれがあると考え、コンピュータの電源を落とし、元通り片づけて施錠して逃げた。

それでも、5000人分全部を手に入れないと名簿屋に売りに行けるようなものにならないと考えたYは、さらにもう一度A社へデータを盗りに行くことを決意した。②11月3日の深夜、自分の所有するフロッピーディスクを数枚持参し、以前と同様にコンピュータを立ち上げ、その持参したフロッピーディスクにデータをコピーしはじめた。ところが、1枚のフロッピーディスクが一杯になった時点で停電になり、1000人分くらいのデータしかコピーできないまま逃走した。

さらにYは、残りのデータをなんとか手に入れたいと考え、③11月6日深夜、フロッピーディスクを持って、A社に侵入した。そして、いつものようにコンピュータを立ち上げようとしたが、担当者の氏名とパスワードを入力しないと立ち上がらないようにシステムが変更されていた。Yは一瞬困ったが、そのコンピュータを管理しているのが元同僚のBであることを思い出した。Bは、日頃、パスワードを覚えるのが苦手らしく、銀行のキャッシュカードやクレジットカードの暗証番号、仕事の関係先のホームページの会員パスワードなどを書き込んだ紙を机の引き出しに入れておいて、必要なときにはそれを取り出して入力しているのを見たことがあった。顧客名簿を管理するコンピュータのパスワードもどこかに書いているかもしれないと思い、Bの机のなかを探してみた。するとすぐにパスワードがわかった。Yは、コンピュータを立ち上げることに成功し、みごと全部のデータをコピーして持ち帰り、これを名簿屋に5万円で売ることができた。

Yは、11月10日、鍵を返還するのを忘れていたとして、A社に鍵を返還した。上記のとおり、3回忍び込むについては、自分が鍵を持っている立場なので、どろぼうが侵入した形跡があれば、真っ先に疑われると思い、痕跡が残らないように慎重に行動した。11月1日のときには、印字をしたものの、15枚程度であったため、紙が減っていることに気づかれることはなかった。あとの2回は、持参したフロッピーにコピーしただけで、元のデータはそのままにしておいたので、やはり気づかれることはなかった。

それから数日が経過したが、Yはいまだに職が決まらず、むしゃくしゃしていた。④11月20日、Yは、さらにA社の仕入先名簿が手にはいないかと考えることもあったが、鍵を返してしまったことであり、ドアや窓を壊してまで会社に侵入しようとは思わなかった。が、ふと、それまで、自分が営業にでかけた際に、外出先から自分のパソコンを使ってインターネット経由でA社のサーバーにアクセスし、得意先顧客データベースを参照して、データの入出力をしていたことを思い出した。今はもうできなくなっているだろうと思いつつも、試しにやってみようと思いつき、勤務していたときと同じように、自分のノートパソコンから、インターネット経由でA社のコンピュータサーバーにアクセスし、自分の名前とパスワードを入力してみた。すると、なんと、以前と同じようにアクセスできた。Yが退社したにもかかわらず、Yの氏名とパスワードでのアクセスが無効にするのを忘れているようであった。Yは、それ以上何かすると、すぐに自分がしたことがわかり、先の侵入とデータの盗み出したことまで発覚してはいけないと思いつき、すぐにアクセスを中断した。

さらに数日後の⑤11月25日、ますます金に困っていたYは、11月20日にまだ自分のパスワードが有効になっていたことが頭から離れず、顧客名簿よりもA社にとって重要な仕入先名簿のデータを盗み出して金にできないかと考え、以前と同様にアクセスした。しかし、さすがにその時点ではYのIDとパスワードは無効になっており、アクセスはできなかった。そこで、Yは、かつて、何度か外出先から会社に電話したとき、元同僚Bの声に聞き間違えられたことを思い出して、Bの名をかたってA社のコンピュータのシステム課に電話し、「外出先から本社のコンピュータサーバーにアクセスしたいのだが、パスワードを書いた手帳を忘れてきたので、パスワードを教えて欲しい。」とお願いしたところ、うかつにもシステム課員がパスワードを教えてしまった。Yは、こうして知ったBのパスワードを使って、インターネットを通じてA社のコンピュータサーバーにアクセスし、仕入先名簿等のデータを自分のパソコンのハードディスクにコピーした。と同時に、A社のかつての上司に対する憎しみがこみあげてきたYは、コンピュータサーバーのデータを次々とでたらめな情報に書き換え、業務上不可欠な情報を消去するなどした。

<問題>

上記のYの①11月1日、②11月3日、③11月6日、④11月20日、⑤11月25日の行為について、それぞれの罪責を検討してください。